第3号様式

令和3年度 第4回 高根台公民館運営審議会会議録

- 1 開催日時 令和 3 年 12 月 15 日 (水) 午後 3 時 24 分~午後 5 時 09 分
- 2 開催場所 高根台公民館 4階 講堂
- 3 出席者
 - (1)委員 本木委員長 泉谷副委員長、今野委員、則松委員、松本委員、丹羽委員、 上野委員
 - (2) 事務局 高根台公民館長、夏見公民館長、高根公民館長、新高根公民館長、 高根台公民館館長補佐
- 4 欠席者 なし
- 5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開にあたっての理由
 - 公 開 (1) 令和 3 年度 公民館事業報告 (9 月 15 日~12 月 14 日)
 - (2) 令和 3 年度 公民館事業計画(12 月 15 日~令和 4 年 3 月 31 日)
 - 非公開 (3) 社会教育関係団体の継続・新規登録申請について
 - ※ 船橋市情報公開条例第7条第2号の不開示情報(個人に関する情報)を審査すること から、同条例第26条第2号に該当するため
- 6 傍聴人 なし
- 7 決定事項 (1) 令和 3 年度 公民館事業報告 (9 月 15 日~12 月 14 日) 承認
 - (2) 令和3年度 公民館事業計画(12月15日~令和4年3月31日) 承認
 - (3) 社会教育関係団体の継続・新規登録申請について 承認
- 8 議事 次ページへ
- 9 資料・特記事項 次回 令和 4 年 3 月 16 日 (水) 午後 3 時 30 分から 高根台公民館 4 階 第 4 集会室にて開催予定
- 10 問合せ先 高根台公民館 電話 047-461-7061

令和3年度 第4回 高根台公民館運営審議会 議事録

日 時 令和3年12月15日(水)

午後3時24分~午後5時09分

会 場 高根台公民館4階 講堂

午後3時24分 開会

○事務局(高根台公民館長補佐)

ただいまから、令和3年度第4回高根台公民館運営審議会を開催いたします。

本日欠席されている委員の方はいらっしゃいません。丹羽委員より所用のため途中で退席 されると伺っておりますので、皆様よろしくお願いいたします。

傍聴人は0人でございます。

本日の審議会は、7名中7名のご出席をいただいております。船橋市公民館条例施行規則 第15条第3項の規定によりまして、過半数以上の出席がございますので、この会議は成立 いたします。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第26条及び船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。

それでは、議事に入りますが、議事の進行につきましては、船橋市公民館条例施行規則第 15条第2項の規定により、委員長が議長となります。本木委員長、議事進行をお願いいた します。

○本木委員長

丹羽委員さんは何時まで大丈夫なんですか。

○丹羽委員

4時まで。申し訳ないのですが。

○本木委員長

4時までね。

コロナは収束したけれども、コロナの感染拡大については今までの注意を守ってやってくださいと。会議は長くても 90 分以内というようなお話でございますので、ひとつ効率的に進めさせていただきたいと思います。この議題につきましては、私がこれをいただいたのは 12 月 9 日かな、既にご覧いただいているということを前提に効率的に進めさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、今日は議題のとおり9月15日から12月14日までの事業報告から入りたいと思います。 高根台公民館から順次お願いいたします。よろしくお願いします。

○高根台公民館長

こんにちは。高根台公民館です。事業報告の前に、私のほうから2点ほどお話をさせてい ただきたいと思います。

まず、今、委員長からございましたけれども、新型コロナウイルスも大分落ち着いてきまして、公民館のお部屋の貸出しですが、今まで定員を1人当たり2.25 ㎡で算出した部屋の基準で利用していただいておりましたけれども、11月末時点で、船橋市の新規感染者数も直近7日間で平均1人未満、また、確保病床使用率も1%前後と推移しておりまして、併せて、ワクチンを2回接種した方の割合も80%を超えていますので、12月1日より従前の定員に戻

して利用していただいているところでございます。ただし、3密を避けるなどの基本的な事項、マスクを着用する個人の予防策、また、当日の体調管理等の確認事項は引き続き行っております。また、活動内容につきまして、中央競技団体のガイドラインにより感染対策を行うこと、併せて、市主催・共催のイベントや事業の実施に当たっては、公民館としてガイドラインというものを作成しておりまして、それに沿ってしっかりと感染対策を行い運営しているところでございます。

2点目につきましては、今日の配付資料の中に、船橋市の公民館に関するアンケートの実施ということで、公民館をふだん利用する方とされない方の二つ、委員さんのほうに配付させていただきました。こちらは、本市行財政改革の中で、公民館は民間活力の積極的活用の導入を検討するよう示されました。しかしながら、その後、公民館施設では民間活力の積極的活用を図る前に、まずソフト面・ハード面からの見直し、整理を優先して行いなさいということで企画財政部のほうから指示がございまして、今回またアンケートを取らせていただいております。こちらのアンケートにつきましては、公民館に対する認識や需要、期待している役割などを把握することを目的に、既に11月16日から行っておりまして、12月28日までということで実施させていただいております。お時間のない中ですが、委員の皆様もふだん利用されている方、あまり利用されていない方いらっしゃると思いますけれども、お時間を見て、お帰りまでに提出していただければありがたいと思います。今のところ、公民館によっては300弱集まっているところ、また、公民館を利用しない人に配布して集めるというのがなかなか難しく、そういう中で私どもも上野校長先生にお願いし学校に持っていき先生たちに書いていただくなど、努力してやっているところです。

私のほうから、この2点についてお話をさせていただきました。

それでは、早速本題に入ります。9月15日から12月14日までの事業報告について、主立ったものを説明させていただきます。

高根台公民館の事業報告1ページ目、青少年です。青少年では、「ふなばしハッピーサタ デー事業」、こちらについては、4回目は9月が休館であったため中止になっております。 10、11月は募集人員を少なくして、記載のとおり実施いたしました。

続きまして、「小学生の公民館サークル体験学習」です。こちらは、3日間にわたり、フラダンス、囲碁、大正琴などの社会教育関係団体等の協力を得ながら、高根台第三小学校の3年生の児童が総合学習の時間を利用して公民館でサークル体験学習を行いました。参加児童、指導される方々ともに和やかな時間を過ごし、子供たちは初めて見る詩吟やフラダンスなど非常に興味深く熱心に取り組む姿が見られました。また、教える側のサークルの方々ですけれども、やりがいを持って熱心に指導する姿が見受けられました。12月7日の最終日には、児童が学んだ成果を発表する場も設けることができました。コロナ禍で減少傾向にあります社会教育関係団体の支援・育成に役立つことができればと思っております。12月7日の人数が抜けていますので、書き加えていただければと思います。男35、女37、合計72名になります。

続きまして、「親子和凧づくり教室」です。こちらにつきましては、親子参加型の募集事業となっております。親子で和凧を楽しそうに作製する様子がうかがえました。また、後ほど計画にも記載があるのですが、こちらの凧を1月8日(土)に高根台第三小学校の校庭をお借りして凧揚げを行う予定でございます。こちらの人数も空欄になっております。子供と大人ということで伝えさせていただきます。まず子供のほうが、男の子13、女の子が8、合計21名になります。大人の方が、男性が7、女性が11、合計18名になります。

続きまして、「空き部屋開放事業」、こちらは人数だけ加筆をお願いします。 $12 月 1 日 \sim 12 月 14 日は 4 名になります。$

続きまして、成人の部です。「スマートフォン使い方講座」「タブレット使い方講座」を行いました。こちらに関してはデジタルデバイド (情報格差) 解消のために行われたもので、今年度、公民館全 26 館で 120 回を超える講座を開催しております。高根台では今回を含めまして合計 7 回実施しましたが、1 回の定員が非常に少ないため受講することができず、いまだ受講を望む方の要望が多いことから、次年度は回数を増やすなど、引き続き取り組んでまいりたいと思います。

併せて、このスマホに関しまして、11月30日の読売新聞の千葉版で、「船橋市公民館でスマホコンシェルジュ」ということで大きく取り上げられました。従来、基幹館の5館としておりましたが、拡大しまして、12月1日から基幹館以外の7館が加わりました。中部地区では新高根公民館において取組が実施されております。今後ますますスマホでの申請や手続などが進められていくものと考えますので、お問合せに対し丁寧に、かつ、できる限りの支援に努めてまいりたいと思っております。

続きまして、ちょっと飛ばさせていただきまして、「本館家庭教育セミナー」、3ページの下のほうになります。こちらについては「親子で楽しむ絵本の世界」とし、絵本を通して親子の触れ合いの場をつくり、家庭での育児の在り方を学習する場を提供するものとして実施しました。募集開始時は申込みの方が少なくて心配しましたけれども、無事3回実施することができました。1回目に絵本作家 浜田桂子先生をお呼びした際には、大人の方で書籍に携わる図書館の職員であるとか図書室関係にお勤めの方なども希望して参加する姿も見受けられました。

ここで一点、大変申し訳ないのですが、11 月 13 日の人数に誤りがありましたので訂正をお願いします。 男が2 で、女が13 になります。合計15 名になります。 大変申し訳ございませんでした。

高齢者は、「ゆりの木大学」「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」をご覧のとおり実施 しました。

「介護予防教室」は、5回実施し、今年度は株式会社ティップネスの運動指導員を講師に招き、健康に関する講話や体操を行いました。参加された方は非常に楽しそうに受講されておりました。

現在、船橋市の公民館として Facebook を開設しておりまして、こちらに短い動画が掲載さ

れております。9月からこのFacebookを開設して、いろいろな公民館の事業や館内の掲示物や様子、サークルの会員募集などの情報が掲載されております。11月中旬現在になりますが、フォロワー数はまだ96名ということですので、ぜひ委員さんのほうもFacebookをやっていらっしゃいましたら、「船橋市公民館」で探していただくと出てまいりますので、ぜひご覧いただければと思います。

続きまして、6ページのその他になります。こちらは「子育て講座『にこにこワイワイ子育てキャンパス』」です。人数を記載していただければと思います。12月11日の人数、こちらも子供と大人でお伝えします。子供が、男の子25、女の子が24、合計49名。大人の方が、男性が13、女性が34、合計47名になります。

最後に、「第1回町づくりサミット 子ども、若者、高齢者、みんなの幸せな町とは~高校生の私は考える~」ということでお話をさせていただきます。こちらにつきましては、例年実施されておりました福祉フェスティバルの代替として、高根台地区社会福祉協議会との共催で、県立船橋芝山高校の協力を得まして、高齢化著しい団地を中心とする町づくり、コミュニティづくりに関して意見交換を実施いたしました。こちらは高校生から、団地をリノベーションしたらどうかとか、映画館をつくったらどうかとか、いろいろな若い発想を提案していただいて、そういうことに驚く高齢者の方々の姿、また、共感する様子が見受けられました。引き続き地域の課題を考える機会として、今回で終わりということではなく、継続してまた開催していければと考えております。

高根台公民館からの事業報告は以上となります。

○本木委員長

ありがとうございました。

ご質問、ご意見等は後でまとめていただきたいと思います。

夏見公民館、お願いいたします。

○夏見公民館長

夏見公民館でございます。よろしくお願いいたします。

まず、青少年から参ります。「ふなばしハッピーサタデー」、10月30日(土)と11月27日(土)に行っております。10月30日の映画会につきましては9月に行う予定だったのですが、9月が閉館中でしたので、中止分を実施しております。

その次、「だれでも書けちゃうショートショート小説講座」、こちらのほうは 11 月 13 日 (土) に行っております。公民館での参加者が 7 名、オンラインでの参加者が 5 名ということで開催させていただいたものでございます。

次、成人のところに参ります。「座 よさこいエクササイズ」、こちらは9月から行う予定だったのですが、9月25日は休館のため中止で、10月23日からスタートし、11月27日に行っております。今のところ2回行っております。

次に、「就学時健診等における子育て学習」、11 月 10 日に夏見台小学校のほうで開催させていただきました。八栄小学校のほうは、学校判断により就学時健診及び説明会のみの開

催ということで、子育て学習のほうは今年度は開催しておりません。

「ひまわり幼稚園母の会家庭教育セミナー」につきましては、9月と11月ということで予定をされておりましたが、9月の分については休館のために中止となって、4年の1月に「未就学児の心と体」ということで開催を予定しております。

次、高齢者に参ります。「シルバースマホ講座 夏見教室」、こちらも9月22日と29日に開催を予定しておりましたが、9月が休館になってしまいましたので、12月に開催ということで変更をいたしております。

次、「ふなばしシルバーリハビリ体操」、こちらは 10 月と 12 月に予定どおり行っております。

「夏見寿大学・前期」、10月14日が前期の部の最後の日で、閉講式と併せて行っております。このときにはアンケートも取らせていただいたのですが、「久しぶりに笑いました」、「笑いたくて来ました」、「またよろしく」ということで、皆様に大変好評でございました。

次に、「運動機能に不安があるシニアのライフホップ体操」、こちらにつきましても9月16日から行う予定だったのですが、9月休館に伴いまして、11月18日が第1回の開催となっております。こちらは受付の際に、体でどこか痛いとか具合の悪いところはありますかということでお問合せをいただいた方に伺って、腰が痛い人が多いとか膝が痛い人が多いとか、そういうことを講師の方が考えてくださって、当日の運動のやり方をいろいろ工夫してくださっている、そういう講座でございます。

その他のところは、「親子 de リトミック」、こちらは夏見児童ホームと共催で行いました。 その次、「楽しい親子ヨガ」、11月24日、こちらも夏見児童ホームと共催で行っております。

次に、「公民館だより『なつみ』発行」、こちらは10月15日に発行しております。皆様のお手元に緑色の館報が行っているかと思います。こちらのほうに、一連の「座よさこいエクササイズ」「運動機能に不安があるシニアのライフホップ体操」「シルバースマホ講座 夏見教室」「だれでも書けちゃうショートショート小説講座」、あとは「夏見寿大学・後期」の募集の関係を掲載させていただいて、かなり皆さんお手に取ってお持ち帰りいただいたりして、窓口に置いておいたのがすぐになくなってしまったという状態でした。

それにプラスしまして、館報の中では裏面のほうになりますが、「夏見文庫」ということで、夏見は地域の方が寄贈してくださった本を貸出文庫として、今だと 1,700 冊ぐらいになっているのですが、それを皆さんにご利用いただいている状況でございます。

併せて、裏面の左下のほうに「『学びたいこと』募集中」ということで、「公民館で学びたいことは何ですか。お知らせください」ということも書き加えさせていただいております

ので、皆さん、これと思うことがあったら、ぜひ夏見公民館のほうにご意見をお寄せいただ きたいと思っております。

夏見公民館からは以上でございます。

○本木委員長

ありがとうございました。

続きまして、高根公民館、お願いします。

○高根公民館長

高根公民館の9月15日から12月14日までの事業報告をご説明いたします。

資料をお送りした後に開催した事業の人数は口頭で申し上げますので、ご記入をお願いします。

高根公民館もほかの館と同様、新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館や、それに伴う 準備不足での中止と、寂しい実施状況となりました。今回、主に実施できた事業をご報告い たします。

青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」では、9月が中止となり、10月16日に 絵手紙入門を行いました。ここでは絵手紙のつくり方を学び、講師が用意した野菜や花の素 材を基に、実際に送るものを作製いたしました。11月20日にはクッブというスポーツを体 験しました。クッブとは、スウェーデンで生まれた子供から大人まで楽しめるスポーツです。 相手チームの木片、これがクッブというもので、これに木の棒を投げて倒し、全部倒した後 に中央のキングを倒すと勝ちとなる的当て陣取りゲームです。参加者数は定員には満ちませ んでしたが、皆ゲームを楽しんでおりました。

続きまして、「青少年向け卓球開放」ですが、最後の行の12月11日も参加者はおりませんでした。こちらにつきましては、休館で利用者が離れてしまった可能性もありますので、引き続き広報に努めていきたいと思います。

次の「空き部屋開放事業」につきましては、まとめて記載してございます。前回の公民館運営審議会から今回までに参加した人数ということで12人となっております。こちらは人数は少ないのですが、常連の子が何人かできておりまして、定期考査の前には2~3人で来たり1人で来たりというふうに、ちょっと定着する傾向が見えているので、喜ばしいことだと思っています。余談になりますが、この間、寿大学で高根中学校の吹奏楽部にコンサートをやってもらったときの生徒にこの常連さんがいて、来て挨拶をしていったというようなこともありまして、定着傾向が見えてきてうれしいことだと思っております。

続きまして、成人事業の「はじめてのタブレット体験」、こちらはデジタルデバイド対策 講座として実施いたしました。スマホに比べてタブレットを使う人があまりいないかなと思 って不安だったのですが、やはり初心者がほとんどで、講師に分かりやすく説明していただ けたので充実した内容となりました。こちらの人数を申し上げます。男性3名、女性5名、 合計8名です。

すみません、申し忘れました。 先ほどの「空き部屋開放事業」は、参加者数は 12 名ですが、

男の子が4名、女の子が8名の内訳でございました。失礼いたしました。

では、2ページのほうに戻りまして、「高根小学校PTA家庭教育セミナー」です。上段に日付が2つ入っておりますが、こちらは5年生に学校行事があって11月6日に参加できなかったため、別に日程を取った関係でこう記載いたしました。ここでは地元高根町にある工務店の社長さんを講師に招き、木材の廃材を使ってクリスマスツリープレートを作製しました。また、11月18日は、卒業式で使うコサージュを作製いたしました。親子でつくったコサージュをつけて実際の卒業式に参加するということで、よい思い出になったということで好評をいただいております。

次に、「就学時健診等における子育て学習」は記載のとおりです。

次の「高根大人の学び塾」は、予定していたのですが、休館で準備のほうが整わなかった ため、残念ながら中止とさせていただいております。

次に、高齢者事業です。「高根寿大学」は、10月は中止いたしましたが、11月と12月は 実施いたしました。12月は先ほど申し上げたとおり高根中学校の吹奏楽部にコンサートをや ってもらって、高齢者でも楽しめるような選曲をしていただけたので、非常に好評をいただ きました。学校側からも「今年度はなかなかやる機会がなく、人前で演奏するのが今年度は 初めてだった」「貴重な経験をさせていただいてありがとうございます」というお言葉をい ただいております。

続きまして、「はじめてのスマホ体験『スマホの基本とスマホ決済』」です。こちらは9 月に開催を予定していたのですが、休館となったため、日時を変更して実施いたしました。 2月にも続きの講座を実施予定です。

次に、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は記載のとおりです。

高根・金杉地区社会福祉協議会との共催である「秋まつりミニデイサービス」、その他事業の「子育てサロン"すくすくひろば"」は中止となりましたが、「ふれあいサロン"ほほえみ"」は記載のとおり実施いたしました。「ふれあいサロン"ほほえみ"」の内容は、指体操、シルバーリハビリ体操、ペーパークラフトクリスマスツリーづくりを実施いたしました。12月13日の人数を申し上げます。男性1名、女性7名、合計8名の参加をいただきました。

次に、5ページ目、「令和3年度高根公民館作品等展示会」ですが、こちらは文化祭が中止となったため、代替として作品展示だけを企画したのですが、こちらも残念ながら中止といたしました。ただし、展示予定の団体については、今回お送りした館報の真ん中のページのところに、展示予定だったものやサークルの紹介などを掲載することとして発表の代替とさせていただいております。

「福祉まつり」は、これも地区社協との共催で実施いたしました。こちらはコロナ対策を 重視したため、人流が滞留しないようになどの工夫をしたことから、去年に比べて少ない参 加者数でした。しかし、当日は天候にも恵まれ、市長も開会式に参加いただけたりして、参 加者数は少なくはありましたが、それなりに充実した内容となっております。参加者数を申 し上げます。91名の参加をいただきました。

その次の「太鼓コンサート『鼓粋』」及び、次のページにあります「高根・金杉地区体育 レクリエーション大会」については、残念ながら中止となっております。

「公民館報『たかね』発行」は、6,800 部発行いたしました。先ほど申し上げたように、 文化祭の代替で展示会に出品予定だった作品を掲載し、あとは、事業のお知らせを載せてご ざいます。

事業報告は以上となります。

○本木委員長

ありがとうございました。

参加者数が、私、聞き漏らしたのかもしれないのだけれども。

○高根公民館長

すみません、抜けていたところがいくつかあったようです。

まず寿大学の12月11日、こちらは65名の参加をいただきました。男女比についてはちょっと取っておりません。

○本木委員長

その前の就学時健診のほうは。11月30日。

○高根公民館長

「就学時健診等における子育で学習」の 11 月 30 日ですね、すみません。男性 0、女性 37 名、合計 37 名の参加をいただいております。失礼いたしました。

○本木委員長

分かりました。ありがとうございました。

続きまして、新高根公民館、お願いいたします。

○新高根公民館長

それでは、新高根公民館の9月15日から12月14日までの事業報告をいたします。

最初に、書面のほうで参加人数が記入されていないところを先に申し上げますので、ご記 入をお願いいたします。

最初に成人の部になります。題目で言うと3つ目の「高芝地区防災フェア」、こちらの総数は、61名です。

次に2つ下がりまして、「地産地消一人で作る料理教室」の12月10日の部です。こちらの参加者、合計8名、男0、女8です。

その下の「ストレスをやわらげるセルフケア講座 はじめての足裏リフレ」、12月3日の分です。こちらは、総数が 12、男1、女 11 です。

続きまして、高齢者の部になります。上から 3つ目の「ふなばしシルバーリハビリ体操普及教室」の 12 月 7 日の分になります。こちらは二部に分けていますので、上の段と同じように 2 つに分かれますが、まず 12 月 7 日の 1 回目、 9 時 50 分からのほうが、総数 32 名、内訳として男性 3 名、女性 29 名。その後の二部のほうの 11 時からの部が、総数で 8 名、男性 0 、

女性8名。

その下の「認知症予防講座」、こちらが2回目、3回目の、12月3日、12月10日の分になります。まず12月3日、総数16名、男0、女16です。その下の12月10日、総数16、男0、女16です。

人数については以上となります。

それでは、内容についてご説明いたします。

先にお配りしましたので、中身につきましてはそれぞれ記載のとおりですが、特に申し上げたいのが、成人の部の先ほど人数を書いていただきました「高芝地区防災フェア」になります。

こちらは、今年度当初から再三企画をしてきまして、前回の会議の席でも一応7月に開催する予定でした。ところが、コロナの影響を受けまして、先に評価のほうも書いてしまっているのですが、予定がいろいろと変わってきまして、急遽また危機管理課等と打合せをしたり、一番大きな協力団体の高芝地区自治会連絡協議会さんのお力を借りまして開催する運びで、12月にやっと何とかコロナのほうも落ち着いてきたということで試みをしました。

ところが、ちょうど開催する1週間前の11月の最終日曜日に運悪くといいますか、市の総合訓練とかぶってしまいまして、内容もほぼかぶるということでした。当初11月後半ぐらいに地区連さんのほうで人数のほうを募集していただいておりましたので、参加人数がどれぐらいかと確認したところ、その時点では30名に満たない参加者数でした。この中で、ほかの館でも言っているように、スマホを使ったデジタルデバイド対策が市を挙げての今年の項目になっており、そこでスマホを使った危機災害的な情報入手を一緒に組んでやっていこうといったところ、こちらのほうは参加希望が3名しかいませんでした。それだとさすがにということで、地区連さんのお力を借りて、最終的には約3倍近い総勢で61名の方にご参加いただけまして、そのスマホのほうも13名の方が体験していただける形になりました。何とか形的には整った形を取っておけたかなと。

今回の防災フェア関係は、最近の大雨ですとか、このところ頻繁に地震が起きたりしていますので、危機意識を地元の方々に持っていただきたいということで、そのきっかけづくりの場を提供するという試みで行いました。それに関していうと、地元さんのほうでは起震車は訓練等でも体験しているからというお考えだったのですが、たまたま人数的なものもあってか、先ほど申し上げたスマートフォンの関係が13名で、それ以外の方々を、市のほうでもなかなかそういうことはやっていない、地元さんのほうでもやっていないということで、今回初の試みでバーチャルの災害疑似体験ができると。また、公民館はご承知のように避難所にもなっていますので、避難所のパーティションを訓練等で何人かはやっているという話なのですが、実体験でパーティションを組み立てるというのが承知されていない方々が多いということだったので、実際に組立てからやっていただきました。あと残りの方に起震車ということで、時間を区切って全員がその体験をできる環境をつくってみました。

そうしたところ、やはり起震車のほうも、今コロナの関係もあるので最高で震度6強まで

だということだったのですが、ふだんなかなかそういうのに乗った経験がないとか、あるいは見ているだけの方ということだったのですが、実際に乗ってみると震度によって揺れがこんなにすごいんだねとか、あるいは、避難所のパーティションにしてもイメージしていたものとはちょっと違うとか、組立て方のコツをつかむまでは大変な思いをしたとか、いろいろとそういうご意見もいただきましたので、今回これをきっかけに、来年度以降も地元の方々の協力を得ながら実施できればというふうには考えております。

そのほかの事業関係については、やはりデジタルデバイドということで、「地産地消一人で作る料理教室」の2回目をオンラインで12月10日にやりました。参加者の方々がご自宅で、講師の方はうちの公民館に来て、Zoomを使った形での参加というのを試みました。やはり担当もなかなか慣れずに、最初はちゃんとうまくつながるかとかすごく心配をしていたのですが、何とかつながることもできましたし、皆さんそれなりに立派なものがご自宅でもつくれたということで、大変喜ばしい声を伺っています。

あと、高齢者の部の「新高根福寿大学」につきましては、今年はいろいろとコロナの関係もありまして、なるべく地元の、例えば包括支援センターですとか、そういうところと協力をしながら事業の展開をしております。この後、計画のほうでも申し上げますが、館のサークルさんなどにも協力をいただきながら福寿大のほうに、今年は館の文化祭も中止になってしまいましたので、そういう意味では発表の場を兼ねるということで、そういった計画もしております。それは、後ほどまたご説明したいと思います。

一番は、なかなかコロナの関係で皆さん外に出られないといった声があって、特に後の「シルバーリハビリ体操」関係はとても人気がある。ただ、2回目の開催のときに、なかなか人数が集まらないというのがちょっと難点だったのですが、やはり外で体を動かしたいといったご意見がうちの地区ではとても多くて、これは健康づくり課のほうの主催でやっているものと、その上の「ふなばしシルバーリハビリ体操 inしんたかね」ということで内容的には全く同じものを取り入れて公民館が主になるものと二通りで毎月2回やる方向性で来年度も考えていきたいと思っていますが、これはとても問合せ等も多い事業です。

以上が事業報告となります。

○本木委員長

ありがとうございました。

それでは、これから公民館ごとでやるのですが、丹羽委員さん、ご苦労さまでした。

○丹羽委員

4時から補導のほうが待ち合わせをしておりまして、申し訳ありません。もし終わって、 まだなさっているようでしたら戻ってまいりますので、申し訳ありません。車で回ろうとい うことになって、車を出さなければいけないものですから、大変申し訳ありません。

ごめんなさい、一つだけ。このアンケートは、ご本人が答えないとまずいですか。今日たまたま補導でお母さんたちもいらっしゃるものですから、もしこれをスマホみたいなものに画像だけ送らせていただいて、まとめた総数だけご報告させていただく形でも大丈夫ですか。

○高根台公民館長

そうですね。一人ずつの内訳が分かれば大丈夫ですが。

○丹羽委員

分かりました。せっかくの機会なので。もしあれでしたら、ふなばし情報メールとか、あ あいったところでアンケートの呼びかけをしていただければ、多分多くの方が、ふだん利用 されていない方もお答えいただけるのではないかと思いますので、ご検討いただければと思 います。

本当に申し訳ありません。失礼いたします。

○本木委員長

ご苦労さまでした。

それでは、継続させていただきます。9月15日から12月14日までの事業報告でした。9月01か月間、公民館が事業中止ということもありまして、いろいろ各公民館ともやりにくかった部分というのはおありだったと思います。だけれども、いろいろと工夫されながらやっておられます。

まず、高根台公民館の関係で、何かご質問、ご意見ありませんか。

1ページ目の「ハッピーサタデー」の、いわゆる実績値、参加者数というのは、どういう ふうに見ればいいのですか。

○高根台公民館長

上の段がお子様の数になります。

○本木委員長

子供さん。

○高根台公民館長

はい。下の段が保護者の数と内訳です。

○本木委員長

なるほど。そういうことですか。分かりました。 よろしゅうございますか。

○松本委員

先ほど芝山高等学校の方が協力してくださったということですが、これは先生にお願いして何人か選んでいただいたのですか。自発的にいらしたのですか。

○上野委員

すみません、私の息子がやっております高校生のサークルがありまして、サークルの中の 子供たちが地域に住んでいることもありまして。

○松本委員

そうですか。なかなか自発的に一人では参加できないと思うのですが、サークルの方々に 来ていただいて、少しはこういう交流があるということはいいことですね。

○高根台公民館長

そうですね。高根台の地区社会福祉協議会に、ちょうど上野先生の息子様が大学時代の研究で地区のことを中心に勉強されていまして、何回も来てお話を伺ったりしていたみたいです。上野先生も高校で社会科をやっていまして、地区のつくりとかコミュニティづくりとかも授業で取り組み、また、そういうサークルといいますか、子供さんを集めてやる気がある子にはそういう課題を与えて、例えば防災に関してもいろんな新聞発表もされていたみたいで新聞で表彰されました。その子も来ていただいて、防災に関してこういう形で取り組むといいですよみたいな提案もいただきました。高校の上野先生が非常に協力的で、平日にもかかわらず授業の合間にお越しいただいて、2回ほど打合せもさせていただき、従来から芝山高校の子も地区社協の例えばミニデイであるとか、そういうボランティア関係もお越しいただいているみたいですので、非常に協力的な学校でございます。

○上野委員

夏まつりとかにも子供たちを連れてきているようです。お世話になっています。

○本木委員長

芝山高校というのは我が地区連の中の学校でして、非常に注目していたんですよ。ですから、報告書を1冊いただきました。全部読みました。高根台というところに視点を絞って勉強されているんだけれども、コミュニティという視点でもうちょっと範囲を広げたら、もっと面白いあれになりはしないかなと。

子供たちがこういう事業をというふうに提案しているんです。これはいただけそうだなと思ったのは、防災運動会という提案があったんですよ。防災運動会って、うちの町会で毎年運動会をやるのだけれども、これ、いただけそうだなという気がしたんです。そんな具体的な提案もありまして、子供たちがこういう新しい視点で見るのは面白いな、これは地域全体を見てもらえば、また面白い意見交換ができたんじゃないかなと。

年が明けますと、地区社会福祉協議会の研修会が予定されています。ここのところへつなげていけないかなと高根台地区社協と話をしているんですが、先生も非常に熱心な先生で、報告書を読んでみると高根台にお住まいだったということで、非常に面白い視点だったと思います。

よろしゅうございますか。

では、夏見の関係ではいかがでしょうか。

○松本委員

夏見あるいは各公民館でもオンラインで試みてやっているようですが、対象が大体何人までできますかね。20人ぐらいまではできるのでしょうか。先生に対してオンラインでつなげる相手は。私そういう専門家ではないので全然分からないのですけれども、これからはコロナが終わっても、オンラインというのが公民館と地区の人たちをつなげる方法としてはすごくいい方法だと思うので、公民館の職員なりももっと勉強して、我々もですが、うまくできるようにして。何人ぐらいまでできるのかなと思っているのですが、どうなんでしょうか。

○夏見公民館長

私どもで今年度初のオンラインというのが「だれでも書けちゃうショートショート小説講座」。こちらは高校生までの子供たちを対象にしてやって、先生からお題が出て、それに基づいて子供たちがお題をクリアして、こんなのができましたみたいな感じで発表をしていく。そういうお時間もあったので、誰かが発表している時間というのは、ほかの人は待つ格好になるじゃないですか。

○松本委員

でも、画面は見ているわけでしょう。

○夏見公民館長

そうですね。画面がぽんぽんと分かれた感じで皆さんの顔が映っていく。そういう発表の時間というのがあると、そのほかの人たちは発表を聞く時間が長くなる。その辺りは参加なさっている方が自分が動いている時間が長いのがいいと思われるのか、皆さんの発表を受け身で聞く時間が長いのもいいよねと受け取られるのか、講座の内容にもよると思うんです。なので、内容によっては結構大人数の方でもできるのではないかなと思っています。まだこれが1回目なので、今後どういうふうに展開していくのがいいのか、実はうちも手探りの状態でございますので、これから研究させていただきたいと思います。

○本木委員長

地区社協なんかは何回かやっていますけれども、もう少し扱いを慣れないとスムーズにはいかないですね。だけど、今、高校だとか大学なんていうのはリモートで授業でしょう。大学なんかはほとんどそれになっていたんじゃないですかね、1年間ぐらい。高校でも一部やっていますよね。けれども、私の経験からすると、この船橋市役所の関係の中でやるのは、もう少し慣れていかないと駄目だなという感じはしました。地区社協で1台持っていて、何回か全部つないでやっていますけれども、やはりしゃべることも遠慮してしまう。それから、地域福祉計画の策定委員会の議論が最後の頃に一度やりましたけれども、発言しようと思って手を挙げても、会長が全部仕切り切れないんですよ。だから発言ができなかったりする。スムーズにいくかというと、私の感じとしてはまだスムーズというわけにはいかないなと、もう少しみんなが慣れないと駄目だなと思いますね。

よろしいでしょうか。

○今野委員

もう一つすみません。「座 よさこいエクササイズ」ですけれども、これは参加者さんの 年齢というのはやはり高齢者なんでしょうか。

○夏見公民館長

参加者の皆様は、募集の段階では市内在住・在勤の成人の方ということですが、実際に参加された方はご高齢の方が多かったように見受けられます。

○今野委員

座るのは床ですか、椅子ですか。

○夏見公民館長

椅子です。

1回目のものは私もかなり長い間そばで見させていただいていたのですが、1回目なので皆さんの体をほぐすほうに講師の先生が時間を割かれて、体がある程度動くようになってから音楽を流してシャンシャンとやったりとか、そういう動きが音楽に合わせて入りました。それが終わった後は、今まで使っていなかった筋肉を急に動かすことによって温まって動くようになった筋肉が、そこで終わり、解散となった途端に冷えて固まってしまう、それがよろしくないということで、講師の先生がラップの芯を人数分お持ちになりまして、足のほうをほぐすとか――足の裏のところに置いて立ったり座ったりしてコロコロ足の裏をほぐすとか、そういうことで、せっかく温まってほぐれた筋肉を維持していくというのですか、そういうようなトータルでご指導いただいた感じで、笑いもあふれて体もほぐれて、いい講座でございました。

○今野委員

どうもありがとうございました。

○本木委員長

よさこいってあるからね。このよさこいをイメージしますものね。

○夏見公民館長

座って誰にでもできるというコンセプトでやっていただいております。

○本木委員長

なるほど。ありがとうございました。

高根の関係はいかがでしょうか。

クッブなんていうのは初めて私も知ったけれども、珍しい。

○高根公民館長

私も企画段階で初めて聞きましたので、調べました。

○本木委員長

珍しいですよね。

お札と切手の博物館って惜しかったですね。これは止まっちゃったんでしょう。私だって 聞きたかったくらいです。

○高根公民館長

新札のデザインが決まったということもありまして、その辺のお話も聞ければと思ったのですが、本当に残念だったと思います。(※1月に改めて実施予定)

○今野委員

卓球なんですが、参加者がゼロだったということで、これはセッティングは最初にされなくて、来られた方たちがセッティングする形でやられるのですか。その辺がどうだったのだろう。こんなにゼロが続いてしまってと。

○高根公民館長

これは設定している時間帯の前に卓球のサークルがやっていらっしゃいまして、片づけな

くていいですよということで、そのままにしてあります。サークルさんが入っていないとき は私たちがセッティングしておいて、ラケットとボールは貸しますよと。靴は運動用の靴を 履いてきてもらいたいですけれども、あとは体だけ来てくれればできますよということでや っています。

○今野委員

分かりました。とても大変だろうなと思って。

○高根公民館長

いえいえ、一応そういうふうに組みました。

○今野委員

余談なんですけれども、ちょっと知りたいなと思って、ごめんなさい。ありがとうございます。

○本木委員長

持井さんが廃材を使って木工作品をやるというのはありがたいですよね。

○高根公民館長

はい。高根町にある工務店で、木のお家をつくるのをメインテーマにしていらっしゃる工 務店がありまして、そこの社長さんが持ってきてくださいましてつくりました。

○本木委員長

持井さんはお家をつくるのでも非常に勉強しているんですよね。今、材木だけで 15 階建てのビルをつくるというのが、今朝の新聞だったか出ていましたね。すごいなと思って。

よろしいですか。

それでは、新高根の関係はいかがですか。

先ほど「防災フェア」の話が詳しく出ましたけれども、これなんかも参加者を規制しないと、コロナ禍の中でやるので、大々的にPRするといっぱい来てしまうし、少なくても寂しいし、非常に地区連としては迷いました。だから、1つの町会で2名以内なんていうふうに限定したんですよ。そうでないと60~70名では抑えられないものですから、非常に苦労したんですけれども、でも非常によかったと思います。

皆さん、さっき避難所でプライバシーを守るためのコーナーをつくるという報告がありましたけれども、ご覧になったことありますか。柱を立てて、仕切りのカーテンをしていくんですよ。私もイメージが湧かなかったんだけれども、船橋市の総合防災訓練が1週間前にあって、そこにもちょっと参加したものですから、そこでもやっていました。柱というと木の柱をイメージしますけれども、段ボールなんですよ。だから軽いんです。こんなに箱はでかいんですけれども、軽く持ち上がる。一本の柱なんてひゅっと片手で持ち上がるような感じ。こういう太い段ボールの柱に、こういうふうにくっつけていくんですね。こっちの段ボールの柱を差し込んでつないでいくんです。それでコーナーが4か所できてまとまれば、そこへカーテンをぶら下げてコーナーを遮蔽する。非常にうまくできています。

○泉谷副委員長

ワンセットで4コーナーできる。

○本木委員長

そうですよね。それをいくつでもつないでいくんです。今、学校にも公民館にもああいう のは準備されているそうで、折があったらぜひ皆さんもお近くで見てください。

よろしいですかね。

(異議なし)

○本木委員長

それでは、この事業報告(9月15日~12月14日)はご承認いただけたということで、その先へ進めさせていただきます。

それでは、3年度の12月15日から3月31日までの各公民館別の事業計画、お願いしたい と思います。高根台から、どうぞお願いします。

○高根台公民館長

それでは、12月15日から3月31日までの事業計画をご説明いたします。

まず、青少年です。「ふなばしハッピーサタデー事業」になります。こちらの3月5日ですけれども、3月は例年こどもまつりとして、児童ホームをお借りしまして、広く地域の子供たちの参加を募って実施しておりました。しかし、不特定多数が来た場合に健康状態等の把握が難しい、また、お子様はワクチン接種の対象年齢ではない方が多いので、代替として公民館を利用して人形劇とマジックショーなどのパフォーマーによる演出を今のところ考えております。詳細につきましては、共催である児童ホーム、また、団地自治会と協議しているところでございます。

続きまして、「新春子ども凧あげ大会」です。こちらは先ほどご説明しましたつくった和 凧を揚げるものです。こちらは、例年穏やかな日が続いていて、なかなか凧が揚がらないと 以前からいる職員から聞いております。穏やかはいいのですが、せめて凧が揚がるくらい風 が吹いてくれるとありがたいなと信じて1月8日を迎えたいと思います。

続きまして、空き部屋のほうは飛ばさせていただきます。

次のページの「職業講演会(高根台中学校)」です。こちらのほうは、ここ数年実施されておりませんでしたが、高根台中学校の1学年を対象に、高根台中学校の体育館で実施いたします。講師としては、生徒から希望が多かった職種の方を招き、進路選択の視野を広げていっていただければと考えております。現在のところ、この3名です。千葉ジェッツふなばしの選手、それから新京成電鉄の運転士さん、最後は船橋市の職員ですが、動物愛護指導センターの小林潤さん、こちらは獣医師になります。獣医の方をお呼びして開く予定でございます。

続きまして、成人です。「高根台の今日用(教養)と今日行く(教育)講座」、こちらにつきましては、今年度「小さな旅のすすめ」をテーマに全4回計画しております。船橋市のよさを再発見できる講座になればいいなと考えております。

続きまして、高齢者と女性の部は記載のとおりです。

最後にその他です。2番目の「今から取り組もう! 防災講座」ということで、こちらは 船橋市と共同事業連携しました明治安田生命との合同事業として実施させていただきます。 3月11日、東日本大震災の発災から来年の3月で11年目を迎えると思います。この日に実施しまして、改めて防災管理意識を高めることができたらと考えております。こちらのほうも、お近くの自治会さんとか、そういう方々にお声がけをして実施してまいりたいと思います。

続きまして、「高根台ハワイアンフェスティバル」です。こちらも 11 月に予定しておりましたけれども、コロナ感染症拡大予防のため 2 月 20 日にしたものです。3 密を避けるなどの感染症予防対策を履行し、実施してまいりたいと思います。

高根台公民館からは以上です。

○本木委員長

ありがとうございました。

それでは、続いて夏見公民館、お願いします。

○夏見公民館長

夏見公民館でございます。

青少年でございます。「ふなばしハッピーサタデー」、12 月から3月まで1か月に1回、 ご覧のとおり予定をしております。申し訳ありませんが、2月19日と3月の分につきまして はまだ講師と調整中ですので、内容は細かくは決まっておりません。

次、成人の部です。「座 よさこいエクササイズ」、こちらのほう続きまして、12月、1月、2月、3月と4回行います。

次、「ひまわり幼稚園母の会家庭教育セミナー」、こちらは9月に中止になった分を1月 21日に行う予定でございます。

「今を楽しむ大人のレッスン」は、2月 18日に「発想力とまとめる力 ショートショート 小説創作体験」、2月 25日(金)には「ゼンタングル®でリラクゼーション体験」、このようなものを大人を対象に夜間に講習会を開催いたします。

続きまして、高齢者に参ります。「はじめてのスマホ講座 夏見教室」、こちらは9月に中止になったものを12月に2回の講座で行います。まさに12月15日、本日14時から16時まで行われておりました。こちらの講座ですが、12月1日に申込み受付を開始したのですが、開始前から、「受付はいつだ」、「電話で申し込むのがいいのか、窓口に行くのがいいのか」、「絶対申し込みたいんだ」というお問合せがかなりあった状態で、実際受付開始の9時には窓口にも何人かいらっしゃいましたし、お電話もかなり鳴りました。30分でもう満員になってしまいました。何日かたった後でも、「広報を今見たんだけれども、まだ間に合いますか」とか、そういうお問合せをかなりいただいた人気の講座でございます。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操」、こちらは2月3日に行います。

続きまして、「夏見寿大学・後期」です。1月、2月、3月、3回行って、3月10日が閉 講式でございます。 続きまして、「運動機能に不安があるシニアのライフホップ体操」、こちらも12月、1月、 2月、3月、引き続きあと4回行います。

その他でございます。仮ということで、「スプリングコンサート」を3月 12 日(土)の14 時から15 時半に予定しております。

「公民館だより『なつみ』発行」、こちらは2月に発行を予定しております。 夏見公民館は以上でございます。

○本木委員長

ありがとうございました。

続きまして、高根公民館、お願いします。

○高根公民館長

では、高根公民館の事業計画です。

まず、青少年事業です。「ふなばしハッピーサタデー事業」につきましては、書いてありますとおり、12月はクリスマス工作、1月はお札のふしぎ大発見、こちらは9月に中止になった分を1月に実施するものです。2月がバルーンアート体験、3月がこどもまつりとなっておりますが、こちらは会場となります児童ホームと調整中でございますので、時間等は記載されておりません。

続きまして、「青少年向け卓球開放」と「空き部屋開放事業」は、引き続き実施いたします。

次にあります「昔あそび体験交流学習」ですけれども、こちらは生涯学習コーディネーターの方々を講師とし、高根小学校1・2年生と昔あそびを通じて異世代交流を図り、子供の情操教育の支援としているものです。こちらの事業につきましては、去る11月13日に開催されました船橋市生涯学習コーディネーター連絡協議会20周年記念イベントで、中部ブロックの活動事例として発表されました。

次の「第 42 回たかねこどもまつり」につきましては、先ほど申し上げたとおりです。 3月 19 日のハッピーサタデーと一緒のもので考えております。

次に、成人事業です。「サークル体験『太極拳』講座」につきましては、2回実施いたします。会員を募集している団体にお願いし、団体の活動支援と活性化・維持発展に努めるための事業です。去年も開催予定でしたが、コロナで中止となったため、今年度実質初めてやることになります。

次の「クッチーナ・イタリアーナ たかね」は、イタリア料理の講師による実習です。料理を通してイタリア文化を体感することを目的としております。

次に、高齢者事業です。「高根寿大学」の計画は記載のとおり、1月12日は立川談修師匠の新春落語鑑賞会、2月は介護保険課の職員による「わかりやすい介護保険の使い方」、3月は閉講式で、船橋ボランティアパフォーマンスチームによる演芸鑑賞会となります。

「介護予防講座『楽しい簡単体操・脳トレ』」と「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」 につきましては、健康づくり課との共催で実施いたします。 次のページに行きまして、「はじめてのスマホ体験『スマホの基本と LINE 体験』」は、ほかの館でもやっておりますデジタルデバイド対策講座の一環でございます。こちらは事業報告で申し上げた事業の続きの事業となりまして、この 2 月 10 日が最後の開催となります。

その他事業としまして、2月5日にコンサートを予定しています。これは、ふれあいコンサートとは別に、高根公民館のほうで毎年「高根虹色コンサート」としてメインでやっているものの一環としてやります。今回はピアノの連弾とハープ・ヴァイオリン演奏を予定しております。

「ふれあいサロン"ほほえみ"」と「子育てサロン"すくすくひろば"」につきましては、地区社協との共催で記載のとおりです。

次のページに行きまして、「高根・金杉地区皆で歩こう会」といいますのは、高根・金杉地区自治会連合会との共催で、今年はどこか分からないのですが、高根公民館の辺りからアンデルセン公園まで実際に健康ウォーキングをするという事業になります。去年は中止になってしまったのですが、先日会長さんと連絡を取ったところ、今検討していますということで、今回はやる可能性も十分ございますので、できたらいいなと思っております。

「公民館報『たかね』発行」につきましては、毎年3回やりますので、1月にもう1回、6,800 部発行を予定しております。

高根公民館からは以上です。

○本木委員長

ありがとうございました。

それでは、新高根公民館、続いてお願いします。

○新高根公民館長

それでは、新高根公民館の12月15日から3月31日までの事業計画を申し上げます。

年度当初に公民館事業計画等でうちの新高根公民館はとても件数が少なかったものですから、今回の最終事業計画のほうもおのずと既に始めていたもの等の残り回数分ということで、 件数的には少ない形で見えてしまいますが、ご勘弁ください。

まず、青少年につきましては、「ふなばしハッピーサタデー」、それから「おはなしの部屋」の2つを開催いたします。例年ですとハッピーサタデー事業、これはほかの館でもお話が出ているのですが、3月にこどもまつりをやる予定となっております。うちの新高根公民館でいいますと、そこにサークルの利用団体連絡協議会と一緒になってこどもまつりを開催するというのが恒例でありまして、今年度も早々にこどもまつりのほうはどうするかという協議を重ねてまいりました。ちょうど時期的に今のような若干コロナが落ち着いた時期の前に打合せをやっているものですから、新高根公民館は児童ホームとも連携しているのですが、こどもまつりは残念ながら中止という運びになっております。児童ホームのほうでは、こどもまつりに代わるような例えばクリスマス会とか、その辺は多々やっているのですが、公民館あるいは利用協と一緒になったこどもまつりについては、今年も残念ながら中止という結果であります。

次の成人の部ですが、「家庭教育セミナー」「ストレスをやわらげるセルフケア講座」「は じめての仏像講座」の3個があります。日にち等を見ていただきますと、最初の「家庭教育 セミナー」と「ストレスをやわらげるセルフケア講座」は今週です。本当に年明けの回数の ほうが新高根は少ないのですが、一応コロナ等も想定して当初に開催時期を計画していたも のですから、どちらかというと、この10月から12月時期に集中した形になっております。

「家庭教育セミナー」のほうでは、今回はお部屋の片づけ、12 月 18 日、今週の土曜日に やるのですが、講師の方を招いてどうすればきれいに片づくかと。ちょうど今、年末の大掃 除の時期ということもありまして、ちょっと出足のほうはいま一つというところはあるのですが、そういう形で試みております。まだもう少し募集の定員のほうは若干空きがありますので、よろしければご協力をお願いいたしたいと思います。

その前の17日の「ストレスをやわらげるセルフケア講座」は、足裏マッサージを開催予定となっております。

それから、最後の「はじめての仏像講座」ですが、これは年明けの1月27日に仏像の修復師の方を講師にお招きして、仏像の修復方法等の入門講座を開催すると。私もその辺の知識がなく何ともというところはあったのですが。女性の方で、いろいろなところにお知り合いがいるということを事業担当のほうからは報告を受けております。

次に高齢者の部になりますが、先ほど申し上げました「新高根福寿大学」、それから、どこの館でもやっています「ふなばしシルバーリハビリ体操」「かんたん体操講座」、この3点になっています。福寿大学に関しましては、ちょうど明日ですけれども、うちのほうではどこの館でもやっている落語家さんをお呼びするというよりも、DVD鑑賞で、年末をコロナのためにご自宅に一人でというよりも、せめて「笑う門には」ということで笑って年末を過ごそうと、綾小路きみまろさんのDVDを借りてきまして、明日上映予定でございます。

また、年明け1月20日と2月17日ですが、こちらについては先ほどお話ししたように、 うちの新高根公民館で活動されている音楽関係、コーロ・ラルゴという合唱の団体で、先生 は劇団四季などを指導されている先生です。私もまだ一度も文化祭関係は拝見していないの で、うちのサークルさんの腕前といいますか、どういうレベルというのは承知していないの ですが、かなり評価の高い団体ということなので、ちょっと楽しみにしているところです。

2月に発表していただけるヒナヒナという団体ですが、こちらはウクレレを練習されている団体になります。ウクレレだけでは間がもたないというようなお話もあったので、どこかとコラボしてもいいですよという話をしたところ、ウクレレとフラダンスをやるような団体とコラボしながら、最終的な閉講式も兼ねて今年度の締めにということでいろいろ企画をしていただいているようです。あとは「シルバーリハビリ体操」関係とか「かんたん体操」、これは健康づくり課との共催の事業なものですから、新高根公民館としては以上となります。

○本木委員長

ありがとうございました。

それでは、12月15日から3月31日までの事業計画、ご意見、ご質問を承りたいと思いま

す。どうぞ。

○松本委員

私の感想ですが、皆さんもそう思っていらっしゃると思うのですが、9月は急に一月コロナでもって閉館ということで、次がどうなるかなと思ったのですけれども、これを見ますと、やっぱり皆さん待っていて、ゼロではなかったみたい。皆さんぼつぼつ出てきていらして、先ほどのスマホではすぐ20人いっぱいになったというお話でしたし、これから皆さんも公民館に集まってくださると思いますので、よろしくお願いします。

○本木委員長

ほかに何かご意見、高根台の関係はありませんか。よろしいですか。

高根台の職業についての講演会、これは私はユニークだと思うんですよね。何年かやっていなかったとおっしゃっていましたけれども、ジェッツふなばし、ああいったスポーツ団体の講師というのはよくあちこちでやるんだけれども、新京成電鉄の運転手だとか、愛護センターの獣医師さんですか、ユニークだと思いますね。きっとこれを聞く生徒さんたちも喜ぶんじゃないですかね。

○高根台公民館長

生徒さんのアンケートですと、そのほかに教員という子も何人かおりました。あとは美容師さん、看護師さんとか、小学生だと普通はユーチューバーとかがあがりますが、高根台中の生徒さんは現実的な職業をご希望されておりました。その中で、ジェッツとは船橋市と協定等もしておりますので、快く受けていただけて、無償でやっていただけるような形です。

○本木委員長

ジェッツは富樫さんなんか来てくれるのかね。富樫さんは来ないだろうな。

○高根台公民館長

選手によって都合があるので、最初は佐藤卓磨選手と言っていたのですが、ちょっとそこも分からないと言っていました。今度、高根台第三小で。

○上野委員

高根台第三小で、50周年記念に原修太選手、出身校なので呼んでいます。

○本木委員長

ジェッツは非常に船橋市の事業にも協力的ですからね。

夏見の関係はいかがですか。よろしいですか。

高根公民館、新高根公民館の関係はいかがですか。

公民館まつりは全部止まったんですね。こどもまつりの話が先ほど出ましたけれども、こどもまつりのほうも止まったんですか。もう3月はやめですか。

○高根台公民館長

そうですね。こどもまつり自体をやるという公民館は、児童ホームとほぼ共催なのですが、 全 26 館で実施はないと思います。皆さん代替でやることは聞いておりますが、あまり耳には しないですね。

○本木委員長

そうですね。ちょっと無理でしょうね。福祉まつりも止まってしまったしね。しようがない、もう少し辛抱ですよね。

総括的に 12 月 15 日から 3 月 31 日までの事業計画、よろしゅうございますか。 (異議なし)

○本木委員長

それでは、ご承認いただけたということで、その先へ進めさせていただきます。ありがとうございました。

それでは、非公開の社会教育関係団体の継続と新規です。こちらの資料は。

「非公開審議」

議題3の社会教育関係団体の継続・新規登録申請については、船橋市情報公開条例第7条第2号の不開示情報(個人に関する情報)を審議することから、同条例第26条第2号に該当するため非公開となります。

また、非公開審議であるため、船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱第8条第3項の規 定に基づき、記載を省略します。

議題3 社会教育関係団体の継続・新規登録申請について 承認済

○本木委員長

本日の議題は以上ですか。よろしいですかね。 それでは、事務局のほうでご連絡か何かありませんか。

○泉谷副委員長

アンケートは今日書いていくものですか。

○松本委員

今書いて出しますよね。

○高根台公民館長

アンケートにつきましては、今日書けなければお近くの公民館に提出されてもいいのですが、今日書けるようでしたら、そのままいただいてアンケート回収ボックスに入れます。

○本木委員長

このアンケートはどのくらいの範囲の市民に出しておられるのですか。利用者団体か何かですか。

○高根台公民館長

そうですね、利用する方は公民館を利用している方に渡していると思います。利用されない方には、三山市民センターなどへ配架はしております。公民館以外でも市の施設として、 あとはどこでしたか。

○夏見公民館長

児童ホームとか老人憩の家。

○高根台公民館長

ほかでも置いてあるのですが、回収がどうなっているのか。1回中間報告みたいなものが 来たのですが、やはり公民館が群を抜いて回収が多くて、ほかの施設は少しでした。ほぼ集 まっていない状況です。先ほど丹羽委員のほうからありましたデータで簡単に答えられるア ンケート、ぜひそういうのは社会教育課にもこちらからお伝えしていきたいと思います。

○本木委員長

これは回答したら地元の公民館に渡してもいいわけですね。

○高根台公民館長

大丈夫です。

○本木委員長

ということだそうであります。

○高根台公民館長

今日提出できないようでしたら、どうぞほかの公民館でも大丈夫ですので。

○丹羽委員

これは例えば広報みたいなもので募集はされていないのですか。

○高根台公民館長

していないですね。

○丹羽委員

もしその辺り、例えば先ほど高齢者向けのスマホ・タブレットの講座にもありましたけれども、例えばバーコードでこちらにアクセスしてくださいというようなことを広報に載せていただいて、その中で、例えば第1問の設問で、「ふだん利用される方」「されない方」という形で意見を収集していただいたら、かなり回答率が上がる。せっかく取っていただくわけですから、やはり市民の母数がないとちょっと偏った意見になってしまうような気がしますので、その辺りを利用していただいたら。もちろん書面で答えている方はそれで問題ないと思いますが。

○高根台公民館長

本当に実際いろんな申込みとかも申請でやったりしていますので、そういう意見をこちら からも社教のほうに提案できなかったのは申し訳なかったのですが、非常にいいご意見をい ただきましたので、アンケートをやる機会は少ないとは思いますが、今後またこういうアンケートがございましたら、そういう電子申請とか電子アンケートみたいな形も提案させていただきたいと思います。

○本木委員長

母数という話が出ましたけれども、この中部ブロックならば、この4つの公民館でみんな それぞれやっているんですね。

○高根台公民館長

やっています。ただ、回収する目安がいくらぐらいというのは社会教育課からは来ているんです。ただ、そんなに多くない数にはなっているのですが、例えば 50 集めれば、26 館あるので、ここで 1,000 は回収できます。

○本木委員長

分かりました。では、地元の公民館でもおやりいただいているようですから、そちらのほうへ集約をしてもらう。

ということで、その他なければ、これで本日の公運審は終わりますけれども、よろしゅう ございますか。

○上野委員

その他、ちょっと紹介で。

○本木委員長

どうぞ。

○上野委員

先ほど、いろいろオンラインの話が出ていましたけれども、今、小学校のほうは一人一台端末ということで、iPad を子供たちが一人ずつ使っています。朝行くと、体温を測ったものの表に自分の体温を打ち込んで送信しているような、そんなこともやっています。

Google Meet というのがありまして、先ほどの Zoom と同じような機能があって、それで授業ができるような準備を今しているところです。試しの学校はもうそれを実施していまして、不登校の児童とかも Google Meet で授業をしているような、そういうことがもう始まっています。なので、これからの小学生はできるようになると思いますので、ご紹介でした。

○本木委員長

iPad だと、授業をやるときは先生と1人の個人という。

○上野委員

個人個人が机の上に iPad を出して、先生が指導しているのですが、例えば自分が意見をそこに入れたとして、ほかの子供たちの意見も画面の中にあったり、あとは電子黒板のところに送られて全部見える。

○松本委員

黒板みたいな大きいのがあるんですか。

○上野委員

はい。データが送信されてみんなの意見が見えたり、ほかの子の意見はどうかなというの を操作できます。調べるのもすぐ。

○本木委員長

私なんかは孫だとか栃木のおいっ子なんかとつないでやるんです。個人でやっている分には非常にやりやすいような気がするのですが、全体で30名なり、そういう人たちで授業をやったら、やるほうもやりにくいことはないんですかね。

○上野委員

授業によってやり方が違うのですが、例えばグループ学習をしていて、今は感染対策もしなければいけないので、集まってやるというよりは、少し近いところで iPad を見ながら、ほかの子供の意見が見えたりということでも活用しています。便利です。

○丹羽委員

先生側がコントロール権を持っているので、例えば先生側が一斉に生徒の画面を変えたり することもできるんです。

○則松委員

そうなんですか。

○丹羽委員

ええ。だから、余計なことをさせないこともできるんです。

ただ、町田であったように一番怖いのは、パスワードを推測しやすいものにしてしまったことです。ですから、生徒同士のやり取りで、ふだん仲のよかったはずの子がとんでもないことを書き込んできたという。 I Dを出席番号か何かにして推測しやすいようにしていたんですね。だから、その辺りはすごく難しいかもしれないです。まだ船橋の子たちは持って帰っていないですよね。

○上野委員

試しの学校は持って帰っています。来年度から持って帰れるようになります。

○丹羽委員

その辺りのセキュリティーの対策をきちんとするかしないかというのは、すごく管理する 側に要求されることになると思いますね。

○上野委員

そうですね。パスワードも設定し直して、きちんとやりましょうというふうになっています。

○則松委員

先ほど、不登校のお子さんにもご指導に行くというのは、やっぱり特別に先生が一人ついて不登校の方のところに行って教えてくるわけですか。

○上野委員

おうちのほうでおうちの方が設定をして、学校では定点撮影といって、学校の授業をそこ で見せてつながっているような感じですね。あとは、一人でやる教材とかそういうものがあ って、自分でやった課題を学校に送信するとか、そういう課題提出みたいなこともやっています。

○則松委員

やっぱりご家庭の方もちゃんとそういうことを理解していないと、機械を使うことも。

○上野委員

そうですね。だから、今年はその Google Meet が使えるかということで今試しているところです。

○則松委員

なるほどね。大変な授業ですね。そうですか。

○丹羽委員

子供たちのほうが上手(うわて)なので、そこはちょっと本当に難しいと思います。子供たちはすぐ覚えちゃうので、多分大人が分からない使い方をしようとします。そこをいかにちゃんと把握するかというのが先生方が大変なことかもしれないですね。

○則松委員

大変ですよね、先生のお仕事。そうですか。頑張ってください。

○本木委員長

先生もおやりになるのは大変だよね。

それでは、以上で本日の公運審を終了したいと思います。 どうもご協力ありがとうございました。

午後5時09分 閉会

ı	1 小 子 十	刀	Н
	議車	į.	

今和 4 年 日 日